

新規事業採択時評価結果(令和7年度新規事業化箇所)

担 当 課：	道路局 国道・技術課
担 当 課 長 名：	西川 昌宏

事業の概要

事業名	一般国道44号(北海道横断自動車道) 別保尾幌道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局										
起終点	自:北海道釧路郡釧路町字別保原野 至:北海道厚岸郡厚岸町尾幌			延長	21.2km										
事業概要															
別保尾幌道路は、北海道横断自動車道根室線の一部を構成する道路で、北海道釧路郡釧路町字別保原野から北海道厚岸郡厚岸町尾幌に至る延長21.2kmの自動車専用道路である。(北海道横断自動車道根室線は、北海道寿都郡黒松内町から北海道根室市へ至る延長538kmの高規格道路である。)															
事業の目的、必要性															
当該区間の整備により、大規模地震、洪水浸水や地吹雪などの災害発生時における住民の避難や復旧活動を支える「命の道」として機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成し、物流拠点、空港、港湾、高次救急医療施設等へのアクセス向上により、釧路・根室地域における産業振興や観光振興、救急搬送などの医療活動を支援するものである。															
全体事業費		約1,250億円		計画交通量	約9,800台／日										
事業概要図															
  <table><tr><th colspan="2">凡 例</th></tr><tr><td></td><td>開 通 済</td></tr><tr><td></td><td>事 業 中</td></tr><tr><td></td><td>調 査 中</td></tr><tr><td></td><td>該 当 箇 所</td></tr></table>						凡 例			開 通 済		事 業 中		調 査 中		該 当 箇 所
凡 例															
	開 通 済														
	事 業 中														
	調 査 中														
	該 当 箇 所														

関係する地方公共団体等の意見

【北海道知事】
新規事業採択時評価に係る「一般国道44号 北海道横断自動車道 別保尾幌道路」事業の予算化に同意いたします。
当該事業は、さんまなどの農水産物をはじめとする物流の効率化や、第3次救急医療機関のある釧路市への救急搬送における速達性・安定性の向上、異常気象時の道路機能の確保、広域観光の振興など、多くの効果を発揮するものと考えています。
つきましては、当該区間を令和7年度の新規事業として予算化していただきますよう、特段のご配慮をお願いいたします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

対応方針(採択理由)

費用便益比が一体評価で1.4と便益が費用を上回っているとともに、計画段階評価手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
また、当該区間の整備により、大規模地震、洪水浸水や地吹雪などの災害発生時における住民の避難や復旧活動を支える「命の道」として機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成し、物流拠点、空港、港湾、高次救急医療施設等へのアクセス向上により、釧路・根室地域における産業振興や観光振興、救急搬送などの医療活動を支援が期待できるなど、当該事業の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

事業評価結果(総合評価)

事業採択の前提条件
☑便益が費用を上回っている
☑事業実施環境が整っている

費用 便益 分析	B/C			(参考)	EIRR	総費用	7, 948億円	総便益	11, 109億円	(参考) 時間信頼性向上便益： 1, 309億円 CO2排出削減便益： 41億円	感度分析		基準年
	(参考)	[4%]	1. 4 (1. 1)	1. 6	5. 6% (4. 5%)	〔 事 業 費： 7, 401億円 維持管理費： 401億円 更 新 費： 146億円 〕	〔 走行時間短縮便益： 8, 933億円 走行経費減少便益： 1, 801億円 交通事故減少便益： 376億円 〕	交通量変動	B/C＝1. 2～1. 6(変動ケース:±10%)		令和6年		
		[2%]	1. 9 (1. 7)	2. 1				事業費変動	B/C＝1. 4～1. 4(変動ケース:±10%)				
		[1%]	2. 3 (2. 2)	2. 6				事業期間変動	B/C＝1. 4～1. 4(変動ケース:±20%)				

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。
※B/Cは本別JCT～根室ICを対象とした場合の値、()書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。
※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(()内は社会的割引率の値)

事業 の 影 響	評価項目		評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	－	・注目すべき影響はない。
		事故対策	◎	・別線整備により事故危険区間を回避し、安全性の高いネットワークを構築する。 【事故危険区間】 現況:3区間 → 整備後:0区間(全て回避)
		歩行空間	○	・通過交通の転換に伴う、現道等の交通量減少により、歩行者、自転車の安全性向上に寄与する。
	社会全体への影響	住民生活	◎	・高次医療施設への速達性の向上による生活環境を改善する。 【釧路市高次医療施設厚岸町・浜中町 60分カバー圏人口】 現況:8.1千人(56%) → 整備後:9.9千人(69%) 整備後:事業中含む尾幌糸魚沢道路＋別保尾幌間利用ルート
		地域経済	◎	・速達性・安全性の高い物流ネットワークを構築し、物流の効率化や地域の産業振興を支援する。 【釧路空港～根室市間の所要時間】 現況:125分 → 整備後:118分(約7分短縮) 【事故危険区間の回避】 現況:3区間 → 整備後:0区間(全て回避) 【貨物車の死亡・重大事故発生箇所の回避】 現況:3箇所 → 整備後:0箇所(全て回避)
		災害	◎	・災害時における信頼性の高いネットワークを構築する。 【土砂災害発生箇所の回避】 現況:11箇所 → 整備後:0区間(全て回避) 【洪水浸水想定区域の回避】 現況:0.9km → 整備後:0km(全て回避) 【地吹雪発生区間の回避】 現況:3区間 → 整備後:0区間(全て回避)
		環境	○	・環境(CO2排出量)を改善する。 CO2排出削減便益:41億円
		地域社会	○	・広域周遊観光ルート of 速達性向上による観光振興を支援する。 【釧路空港～根室市間の所要時間】 現況 125分 → 整備後 118分(約7分短縮)

事業実施環境
・北海道横断自動車道釧路・根室間建設促進期成会などから、別保～尾幌間の早期事業化の要望を受けている。

事業評価結果(防災機能)

事業の必要性			大規模地震、洪水浸水や地吹雪などの災害発生時における住民の避難や復旧活動を支える「命の道」として機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成し、物流拠点、空港、港湾、高次救急医療施設等へのアクセス向上により、釧路・根室地域における産業振興や観光振興、救急搬送などの医療活動を支援するものである。						
評価項目	地域の課題			関連する計画					
救助活動等	・ 釧路根室地域は 30 年以内の大規模地震発生確率が高く、地震発生時には土砂災害等が発生するなど、被災時の国道機能の確保が課題。			※北海道総合開発計画(R6.3 閣議決定) ・ 災害時における代替性確保のための高規格道路整備や基幹的な道路ネットワークを強化。 ※第 6 次釧路町総合計画(R4) ・ 国土強靱化計画に基づく社会資本整備を推進するとともに、地域の防災拠点整備を推進。 ※厚岸町地域強靱化計画(R6) ・ 救急救援活動等に必要な緊急輸送道路や避難路の計画的な整備を推進。					
住民生活	・ 釧路根室地域の第3次救急医療施設は釧路市にしかなく、カバー面積は全国平均の約 12 倍であり、救急搬送に時間を要している。また、心疾患患者の死亡率が高い。			※北海道総合開発計画(R6.3 閣議決定) ・ 北海道の価値を生み出す生産空間での生活を維持するため、広域分散型社会を支える交通ネットワークの形成を図る。 ※第 2 次釧路町都市計画マスタープラン及び緑の基本計画(R5) ・ 都市の日常生活を支える主要な道路交通網として、広域的幹線道路を補完し、周辺市町間や市街地間交通の効率化を図る。 ※厚岸町都市計画マスタープラン(R6) ・ 高次医療機会等の確保等、町の発展に資する道路として広域幹線道路の機能強化。					
地域経済 地域社会	・ 釧路根室地域は、全国のさんまの漁獲量の約4割を占めるなど、日本の食を支えているが、全国へ出荷する釧路空港や釧路港等までの物流ルート上において、カーブ連続かつ急勾配区間等で速度低下や貨物車の死亡・重大事故が発生しているため、速達性・安全性の高い物流ルートの確保が課題。			※北海道総合開発計画(R6.3 閣議決定) ・ 農水産物等の輸送を支える高規格道路の整備を推進し、産業を支える物流基盤の整備と物流システムの維持・効率化を図る。 ※第 2 次釧路町都市計画マスタープラン及び緑の基本計画(R5) ・ まちの発展に資する、広域交通(高速)ネットワークの構築を推進。 ※第 6 期厚岸町総合計画(R2) ・ 尾幌糸魚沢道路の早期着工、別保～尾幌間の早期整備を要望し、道東自動車道の整備促進に努める。					
その他									

事業の有効性

- ・当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価に変化はないものの、主要都市間のリンクの脆弱度が改善し、ネットワーク全体の防災機能が強化される。
- ・また、本事業により、釧路根室地域から釧路市の高次医療施設等への速達性が向上するほか、釧路空港や釧路港へのアクセス向上が図られ、日本の食を支える地域の産業振興を支援するなど有効性の高い事業と評価する。

道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善 ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	釧路市	根室市	17 (3)	0.95 [C]	0.91 [C]	▲210.8 (0.00)	0.06 (0.09)	0.04 (0.00)	○ (－)
				(1.00) [D]	(1.00) [D]				

事業の効率性
・計画段階評価手続き完了(R6.12.25)

※道路ネットワークの防災機能の値は、本別～根室を対象とした場合の値、()書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果